

封帆 個展

漆紗 — 編む、纏う、存在する

2026.10.27 TUE → 11.1 SUN

11:00～19:00 (最終日は16:00まで)

本展では、中国・漢代の貴族が身に纏った漆紗冠、及びその復元と現代のジュエリーへの展開を紹介します。漆紗は極細の絹糸を基に、二度塗り重ねて編み込むことで生まれる、軽やかで強靱な素材です。会場では、復元した実物の漆紗冠、漆紗技法を用いたブローチ・ネックレス・リング、さらに漆紗を紡ぐための復元装置を一堂に展示いたします。

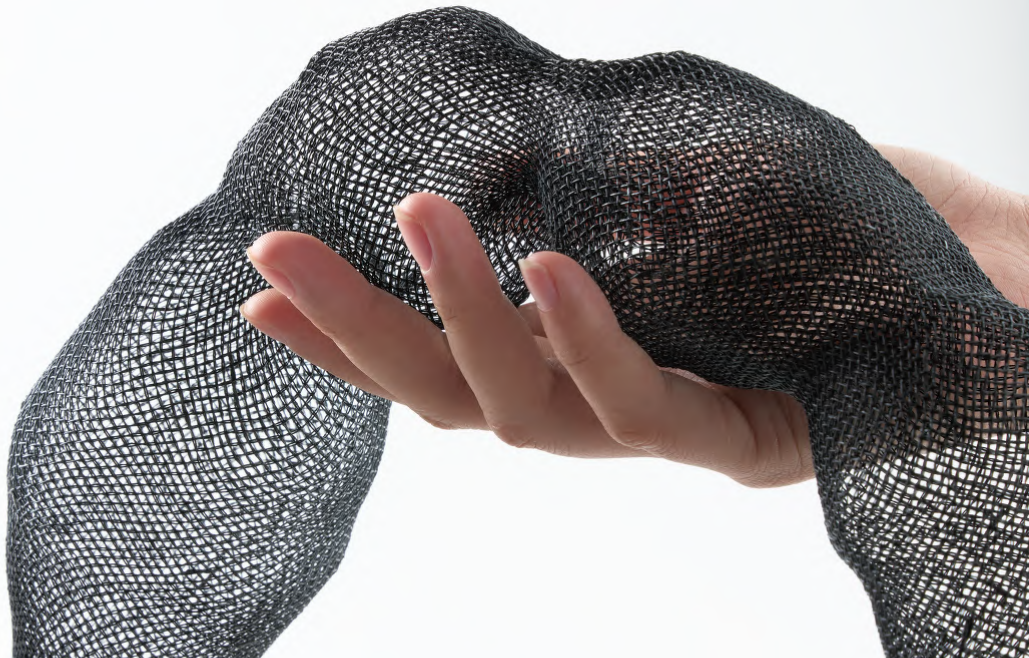
編む・纏う・存在する——この三つの層を通じて、失われた技法が現代にどう息づくのかを体感いただけます。本展は、博士課程修了後初めての展覧会です。伝統と現代、工芸と身体のかいだを編み直す、その最初の試みとしてお届けします。

広島市立大学 × gallery G



gallery G

広島市中区上八丁堀 4-1 アーバンビューグランドタワー公開空地内
Tel. 082-211-3260 Fax. 082-211-3261 Web. www.gallery-g.jp



封帆 個展 漆紗——編む、纏う、存在する

広島市立大学 × gallery G